

2019 販促・マーケティング総合展 内

第2回 店舗販促 EXPO 春

会期: 1月30日(水)~2月1日(金) 10:00~18:00 (最終日のみ17:00終了) 会場: 幕張メッセ

テクノロジー×実店舗
次世代店舗のカタチ

無人店舗やスマート決済システムの開発が世界各国で加速しています。2018年1月には、Amazon.comが米国のシアトルに無人コンビニ「Amazon Go」の1号店をオープン。中国では中山市賓哥網絡科技の無人コンビニ「ビンゴボックス」などで既に無人店が1,000店程度あるとみられています。日本でもJR東日本が2018年10月、AI(人工知能)技術を用いた無人決済システムの実験店舗を、赤羽駅のホームに開業しました。現在さまざまな業種で、無人店舗の実用化が進んでいます。1月30日(水)から3日間、幕張メッセで開催する「第2回 店舗販促EXPO 春」にも無人店舗に関わるサービスや次世代の店舗ソリューションが多数出展。ここではその一部を紹介します。前回(2018年1月)と比べ100社増の280社※が出展する同展で未来の店舗のヒントが見つかります。ぜひ会場へ取材にお越しください。

出展サービス (一部抜粋)



防犯から接客まで 全てを無人化

サービス名: 無人店舗トータルソリューション AI Store
社名: (株) オプティム

無人店舗トータルソリューションAI Storeは工具通販モノタロウと実店舗を共同運営中。本店舗ではキャッシュレス・セルフ決済を行う「モノタロウ店舗アプリ」とカメラ映像および入退店ゲート機器の情報を、店舗管理支援サービス「Smart Retail Management」と連携させ、店員がいない状況でも店舗内のカメラや入退店ゲート、各種センサーを制御します。

取材のお申込みはこちら https://www.sp-world-spring.jp/press_f/

※同時開催展を含む、最終見込み数字。開催時には増減可能性があります。



ネットとリアル店舗を融合した次世代の店舗

サービス名：MISE-demo
社名：(株) タッグ

MISE-demoはタッチサイネージで選んでスマホで買う、新しい購入体験の仕組み。サイネージに表示されている商品をスワイプまたはスクロールし、タップすることで表示されるQRコードをスマートフォンのカメラで読み取ると簡単に商品を購入できます。今までにない買い物を体験してみませんか？

■ 次世代の店舗ソリューションも多数出展！



「待たせる時間」を「楽しませる時間」に変換 体験型デバイス

サービス名：EXtimer
社名：(株) ジオネクサス

タッチパネルを搭載した動画再生機能付きの次世代呼び出しベル。フードコートやカフェで待たされているちょっとした待ち時間、病院や携帯ショップなどで待たされているわりと長い待ち時間、そんな「待たせる時間」を「楽しませる時間」に変換できる体験型デバイスです。

インバウンド対策、音声検索、GMB管理に最適

サービス名：Yext Knowledge Manager
社名：YEXT K.K.

Yextは、Google検索やGoogle Mapなどのサービスを介して示される情報を、情報の発信元が管理を可能にするためのツール。ユーザーが使用している場所、端末、検索サービス問わず、いつでも店舗の正確な情報を表示できるようになります。

yext

空中浮遊する3D映像を実現

サービス名：3Dホログラフィックディスプレイ
社名：(株) カシマ

次世代型広告ディスプレイ。回転残像のホログラム描写により、映像が空中浮遊しているような効果を演出します。投影する映像を動かすことで目を惹き、人を集める効果に加え、人が人を集める効果があります。商店街やレストラン、地下鉄駅など様々な場所に適用できます。

※掲載の情報は出展社・出展製品検索サイト、出展社の公式HPの情報を引用。当日の出展製品は変更になる可能性もございます。予めご了承ください。

取材のお申込みはこちら https://www.sp-world-spring.jp/press_f/

※本展の取材は事前登録が必要です。

※取材のお申込みは、「報道」「記事掲載」などの取材を目的とした方のみご登録いただいております。

※事前のご登録が無い場合やご登録いただいても取材目的ではないご来場の場合、

報道活動が認められないと主催者が判断した場合（個人ブログ・SNSなど、極めて限定的な発信を含む）は当日プレス受付をお断りする可能性がございます。あらかじめご了承ください。